

【草花の部屋】

アリウム(ヒガンバナ科ネギ属 Allium)

和名：ハナネギ **別名**： **英名** chive、Garlic、Leek、Onion

キジカクシ目 球根・多年草

原産地：ユーラシア、アフリカ北部、北アメリカ

花言葉：深い悲しみ、正しい主張

花の色：白、桃、黄、紫、複色



← 写真-1 アリウム・ギガンテウム
(Allium giganteum)

撮影日：2016年05月21日

撮影場所：京都府立植物園にて

撮影者：M さん

府立植物園散策中に見かけました。何んだらう？と思いつつ、近寄って名札を見ると、アリウム・ギガンテウムと…。調べてみると、ネギの仲間。と言われても、葉が…。ネギ坊主？普段、目にするネギ坊主とは大分、違う…。

→ 写真-2 アリウム・スファロセファラム
(Allium sphaerocephalum)

撮影日：2016年06月02日

撮影場所：エトルタ(フランス)にて

撮影者：M さん

エトルタは、アヴェルの崖とアモンの崖に挟まれた街。かつて、モネやクールベが何度も描いたという白亜の断崖やルパンシリーズの「奇岩城」のモデルになったと言われている針岩、怪盗ルパンの家と称される作家モーリス・ルブランの家がある街です。アモ



ンの崖に続く遊歩道を歩いていると、その脇に咲いていました。その日は、結構、風が強く、帽子を飛ばされないかとヒヤヒヤ。それでも、強い風にも負けじ・・。といっても、風のあまり当たらない場所のようでした。



← 写真-3 アリウム・クリストフィー
(*Allium christophii*)
撮影日：2016年06月03日
撮影場所：モネの家～
ジヴェルニー
(フランス)にて
撮影者：M さん



← 写真-4 アリウム・シュベルティイ
(*Allium schubertii*)
撮影日：2016年06月03日
撮影場所：モネの家～
ジヴェルニー
(フランス)にて
撮影者：M さん

写真-3、4はモネの家の中庭で見かけました。アリウムの仲間は、奈良でも良く見かけられるようになりました。多くの品種があるようです。

アリウムの仲間は北半球に300種以上が分布しているそうです。アリウムというと聞き慣れませんが、非常に身近に接している植物群でタマネギやニンニク、ラッキョ、ネギやワケギなどがあり、これらも学名にすると「アリウム・・・」という名前になります。

園芸で一般にアリウムというと花が美しく、花壇や切り花にして鑑賞する種の総称で、秋に球根を植えて春に花を楽しむ「秋植え球根植物」として扱います。早く言えば、花のキレイなねぎ坊主。

<ちょっと一言>

以下の品種もあるようです。

＊カエルレウム(*Allium caeruleum*)

中央アジアに分布。ブルーの小花を球状にまとめて咲かせる。

*モリー(*Allium moly*)

南ヨーロッパ原産、先端に 2cm 前後の花を 30～40 輪咲かせる。

花色は鮮やかな純黄色で。

*ネアポリターヌム(*Allium neapolitanum*) 小球性で地中海沿岸に分布。純白の花を 20 輪前後咲かせる。